

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

**製品名：コタロー半夏瀉心湯エキス細粒**

主成分：半夏瀉心湯(Hangeshashinto)

剤形：黄褐色～茶黄色の細粒剤

シート記載など：N14 コタロー半夏瀉心湯(ハンゲシャシントウ) 2.5g

**この薬の作用と効果について**

- ・胃部がつかえ、吐き気、嘔吐、食欲不振、下痢、軟便などの症状があるものに用いる漢方薬です。
- ・通常、胃腸炎、口内炎、つわりなどの治療に用いられます。

**次のような方は注意が必要な場合があります。必ず担当の医師と薬剤師に伝えてください。**

- ・以前に薬や食べ物で、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。アルドステロン症、低カリウム血症、ミオパチーがある。
- ・妊娠または授乳中
- ・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般医薬品や食品も含めて注意してください）。

**用法・用量（この薬の使い方）**

・あなたの用法・用量は( ( ) :医療担当者記入))

- ・通常、成人は1日7.5g（水製乾燥エキスとして5.0g）を1日2～3回に分けて、食前または食間に服用しますが、年齢・体重・症状により適宜増減されます。必ず指示された服用方法に従ってください。
- ・口内炎に対してこの薬を使用する場合は、口にふくんでゆっくり服用することができます。
- ・飲み忘れた場合は、気がついたとき、できるだけ早く1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回飛ばして、次の通常の飲む時間に1回分を飲んでください。2回分を一度に飲んではいけません。
- ・誤って多く飲んだ場合は医師または薬剤師に相談してください。
- ・医師の指示なしに、飲むのを止めないでください。

**生活上の注意****この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）**

主な副作用として、発疹、じんましんなどが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[ ]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・発熱、から咳、息切れ、呼吸困難[間質性肺炎]
- ・尿量が減少する、顔や手足がむくむ、まぶたが重くなる、手がこわばる[偽アルドステロン症]
- ・体がだるくて手足に力が入らない、手足がひきつる、手足がしびれる[ミオパチー]
- ・体がだるい、皮膚や白目が黄色くなる[肝機能障害、黄疸]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

**保管方法その他**

- ・乳幼児、小児の手の届かないところで、直射日光、高温、湿気を避けて保管してください。
- ・薬が残った場合、保管しないで廃棄してください。廃棄方法がわからない場合は受け取った薬局や医療機関に相談してください。他の人に渡さないでください。

**医療担当者記入欄**

年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、「患者向医薬品ガイド」、医療関係者向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。